

第7回学校適正規模・適正配置審議会 会議録

- 1 期 日 令和5年7月7日（金）午後6時30分から午後8時40分
 2 場 所 庄内町役場 B棟 入札室
 3 出席者 河村竹宏、齋藤透、丸屋恭子、齋藤正典、佐藤義徳、佐藤一典、齋藤慎一郎、
 佐藤彰、佐藤一、富樫豊一、菅原弘昭、菅原由香里、齋藤裕子
 4 内 容

1 開会	18:30
2 会長挨拶	菅原会長あいさつ
3 教育長挨拶	佐藤教育長挨拶
4 前回の協議内容について	議事録の確認
5 説明	事務局から「中学校を1校とした場合の施設整備等について資料4」「現余目中学校を利用した際のスクールバス運行について資料5」について説明
事務局	何か不明な点などございませんか。
A	今、中学校の校舎をどうするか話が出ているわけですが、一貫して余目中学校を使うという方向が色濃く出ていると思います。それなのに、立谷沢地区、狩川地区の生徒の通学時間が多くなるというのは当然なことなわけですね。だから、それ以外の話、中学校を一校にした場合どこに建てるかということはどうですかね、余目地区の人も或いは立川地区の人も、例えば学校へ行く通学時間、同じようなところに建てる。農振がどうのこうのという話がありますけども、そういうことが可能なのかという話が一切出てこないで、ただ、余中を使うんだということしか出てこない、そんな感じがしてならない。1校にするか2校にするかということで、中学校は1校、小学校は1校という案も当然あるでしょうし、中学校2校、小学校2校という案も可能だと思います。その辺のところを、もちろん安くなることは結構なことなんですけども、その辺偏りが無いのかなという疑問を感じるのですけども。いかがでしょうか。
教育課長	今回資料4ということで、町内1つの中学校とした場合ということで、新しく建てた場合と既存の余目中学校を利用した場合ということで2つを比較させていただきました。この表は結果的にそのように捉えられたかもしれませんが、何も余目中学校にこだわったという意味ではなく、余目中学校を1校にした場合、余目中を利用するからこの表をつくったわけではなくて、あくまでも新たに造った場合と、既存の余目中学校を使った場合を比較した表ということでご覧いただければと思います。事務局の説明がそのように聞こえたのであれば申し訳ございませんでした。何もそのような意図はございませんので平等に見たつもりであります。その点、ご理解をいただければと思います。
B	立川中は1校で長寿命化しようとしたとき、この人数は入らないでしょう。
教育課長	入らないです。

B	立川中の建物を長寿命化すると入らないわけです。
A	生徒の数ということですね。立川中を使った場合は入らないということなわけですね。
B	なので、長寿命化をして対応していく際は余目中学校を使うという説明であったかと思います。もちろん新築であれば、場所などは自由に選択できるという意味かと思っています。
事務局	只今の説明を踏まえたうえで、協議の方に移らせていただきます。座長を菅原会長にお願いします。
会長	今日は協議題の数が多くなっておりますので、その辺も踏まえながら進めさせていただければありがたいと思います。1番目の議題ですけども、中学校の整備の考え方についてということで、前回の審議会の中で中学校は1校が望ましいというところまでは、私としては方向性が確認できていたのかなと考えております。町の方でも1校が望ましいとしたうえで、どのようなことが考えられるかということで資料を準備してくれたのかなと考えたところです。ですので、それを踏まえて、立川中を利用するということは現実的に生徒数を入れるということが難しいということなので、そこから余目中学校の校舎ということが出てきています。長寿命化で対応すべきなのか、或いは新校舎ということで考えていくべきなのかということで、審議をしていきたいと思っています。ご意見をお願いします。
C	今の説明で、新築のデメリットとして、町の財政負担が多いとありますが、多いから何なのか、多いから無理なのか、それとも何かやる方法があるのか。多いお金を払ったところで、我々町民に何か関係してくるのかとか、スクールバスの台数が増えるとかあるが、どのくらいを見込んでいるのかとか、それらを改善するような策はあるのかとか、候補地についても町のどの辺であればいいのかとか、その辺の情報がないと何とも言えないような気がする。情報が少ないのではないかと思います。
会長	その辺、何か具体的に出せる情報などありますか。
教育課長	一番は、町の財政負担が多いことが、学校建設にどのように影響するのかということかと思っていますけども、町の1年間の財政が今年度130億円前後くらいですので、その中で学校とか建てていくわけです。1年間に学校に使えるお金というのがある程度決まっておりますので、金額が増えていけば学校を建設する期間がまず長くなっていくということがあるかと思っています。ある程度学校に使えるお金を確保しつつ建てていくとなると、それが金額が少なければ、例えば3年くらいで建てることのできるものが、大きくなれば、5年とか6年とか期間が長くなっていくということが一つあるかと思っています。また、学校の中で小学校のことも話題になっておりますので、そこの順番とかにも絡んでいくのかと思っています。小学校と中学校を同時に建てるのが可能なのか、1年間で使

	<p>えるお金が決まっているとすれば、このくらいの中で収めるとすれば、長くかければできるわけですが、その辺をどうするのかということもありますので、その辺が判断の材料になるのかと思います。財政的にこの差があっても不可能でないと思いますが、期間が長くなっていくだろうということがまず一つ挙げられるのだと思います。スクールバスに関しましては、買った後で維持経費が毎年かかっていきますので、毎年決まった130億円くらいの予算の中で維持経費が多くなれば多くなるほど町の予算としては、他のものにかけるのが厳しくなっていくのかなというそういうところもあるのかなと思っています。今、思いついたところでこのようなことがあるのかなと思ったところです。</p>
会長	<p>よろしいですか。今、出せる範囲内での情報というようなことだと思いますけれども。 ご意見をお願いします。</p>
B	<p>今、事務局から説明があったとおり、新築の場合負担が多くなるというのは当然のことだと思います。ただ、そうだったら二つに分けてその負担を長寿命化でその負担を少なくする手もあるし、ただ、お金、お金といわれると夢を食べて生きていくわけにはいかないけども、子供の将来に対して少しお金の負担云々でなくて、こんな子どもにしたいからこんな学校にしようという話が先に出てきてほしいなと思いました。デメリットはデメリットなんですけど。無尽蔵ではないということはわかっています。</p>
D	<p>今の話に関連するんですけど、余目中学校を長寿命化改修というふうになっているわけですが、前回、小学校の教室が狭くて教育環境が著しく厳しい状況だと聞いたことがあるんですけども、中学校の関係者がこの会にいると思うんですけども、学習環境はどういう状況なのですか。例えば、切羽詰まっている状況で、長寿命化をすれば教育環境が劇的に変わっていくのかどうか。私も中学校からかなり遠のいていますので、その辺、どのようになっているのか説明をお願いしたいんですけども。</p>
B	<p>小学校は昔の広さで、机だけデカくなって、本校6年生35人でギンギンで中を先生が通れないような状況です。中学校は机の大きさとかでどう変わりましたか。小学校は教科書のサイズがA版サイズになって机のサイズが一人当たり占める割合が大きくなったんです。昔は余裕をもって入った数が入らなくなったんです。</p>
E	<p>教室の中のスペースは狭くはなく、普通かなと思います。著しく破損しているような危険箇所は大きなところはないですが、その中で傷んでいるなというところはいろんな部分であります。</p>
D	<p>それを補修していけば、学習環境上影響ないということなんでしょうか。</p>
E	<p>そうですね、学習環境をどのくらいまで求めるかによると思うのですが、いわゆる、その当時は建てて、使っていても時代とともに合わなくなっている教</p>

	室もあつたりして、あとは今現在生徒数が減ってきているので、空き教室が1つくらいずつ毎年増えていっている状況はあります。今年は1年生は4クラスなので、去年までは5クラスだったので、1教室が空き教室になって、それはそれで子どもたちの会議とかちょっとした場面で使えるんですけども。
教育課長	皆さんが使っているこの建物、実際、昔、中央公民館だった建物なわけです。皆さんご存じかと思いますけども。築40数年だったところ、大規模改造、リフォーム、長寿命化ということでここまで直しました。コンクリートの建物の躯体だけ残して大きく変わっているわけですので、このくらい大きな改造をすればですね教育環境は十分保証できるところまではもっていけるのかなというふうには思っております。
D	結局、先ほど説明したとおり、長寿命化で改修すればですね、将来に備えてもそんなに不安でないような感じだとすれば、その辺の周辺、先ほども説明あったとおり、グラウンドの関係とかいわゆる教育環境が既存の余目中学校を利用した場合は、いろいろな場面から考えても部活の関係から考えても非常に環境的にはいいのではないかとこのように思っていますので、長寿命化で改修して1校とするとやっていった方が私としてはいいのではないかと思っています。
会長	その他、いかがでしょうか。現在の余目中学校の長寿命化を図ることによって進めていくことが望ましいのではないかとこのことが出されたところですけども。
B	今の件で、長寿命化の改修でのデメリット、通学時間と部活動の送迎の負担ということで、そういうところを立川の人方が今の話を聞いてどう捉えますか。
F	一つ聞いておきたいのですが、バスの出発はどうして鉢子からなっているのですか。
事務局	スクールバス運行のシュミレーションは、令和11年度現在で押さえて、今わかっている状況で試算させていただきました。
F	今後、誰かその地域に嫁いでいってなどは加味されていないということですか。
事務局	現在でわかる状況でのシュミレーションになります。
F	冬場だと1時間はかかるかと思えます。
事務局	夏場での設定でのシュミレーションになります。
F	立川地区はどうしても弱い立場になっているので、そのような偏見をもって見てしまうと、間違いなく冬場になると1時間くらいかかるし、冬時間という形で早い時間にバスが始まるわけですね。そうしたときのことも考えておいていただかないと中学校1年生が通ったときに何時からスタートですかというように配慮があってもいいのかなと思ったのと、お金がメインなのでどうしようもないと思えますが、弱い立場とってしまっているのかわからないですけ

	<p>ども、どうしてもそのような考え方になってしまいます。希望としては、立川地区、言ってしまうと立谷沢地区の子どもは出来れば近い方がいいわけですから、そこで折り合いの付くところという考え方でどうするのかという希望はありますけども、でも、お金の面でこうですよとなって、財政はないですよとなったときにはどうしようもないので、気持ちとしては、なるべく近くに通わせたいというのがありますけども、そこはどこかで折り合いを付けないといけないので、その方向でお願いできればという気持ちです。</p>
A	<p>補足でいいですか。6月29日に配られた資料の10ページ目ですけども、(3)で小中学校適正規模・適正配置を実現するための学校整備の方針として、そこにA案、B案というのがある。A案では、中学校は1校が望ましい。財政的に考慮して既存の余目中学校で長寿命化で対応すべきだ。B案では、中学校は1校が望ましい。なお、立川地域、余目地域、両地域の生徒、保護者の負担を軽減するために新たに場所を設定して新校舎で対応すべきである。これがB案です。ですから、今の意見からですね、私はなんとかB案の方を考慮できないのか、新しい余目地域の人も今までの余中に通うのが楽なんだろうけども、みんなが平等で通えるような中学校、それをどこか建てられるところが限られてくるかもしれませんけども、財政のことを考えたらこれはダメだというふうになりますけども、財政のことは我々、全然考えないわけではないですけども、そういう方向でいったらいいんじゃないかと私は考えています。余目地区も立川地区も両方の生徒も保護者も負担が平等になるようにということを考えてなければいけないのではないかと、私は今まで出てきた案が、すべて余目中を改修ということで、余目中だけを持ち上げているというふうに感じられてならないのです。20年後、30年後のことを考えて、1校、新築で余目地区も立川地区も両方平等でいけるような地域に新しい校舎を建てる。これが一番いい方法じゃないか。お金は少々かかるかもでしょうけれども。なかなか、生徒、保護者、教員の意見もそうなんですけども、どういう学習環境を望みますかということがありますが、例えば、コンピューターとか何か素晴らしい環境がいいのだというのがありますけど、それは随分、なんというか今流行りの特殊な方向でいきたいというような、あらゆるところに学習環境全てバックアップできるような学校に施設設備ができるということが一番いいだろうと、その設備の中に1校の中学校は立川、余目両地区のちょうど中間あたりに建てる、そういう方向で進んでいくべきだと私は思います。</p>
会長	<p>いろいろな意見が出されているわけなんですけども、小学校に関しては新築する方向で出ているわけなので、中学校も一緒になると現実的な問題として、出来るのかどうかというのが素朴な疑問としてなくはないわけですが。</p>
A	<p>お金のことは考えなければならぬですけども、だからといってこういう場で決める問題ではないと私は思います。</p>

会長	この答申の中に財源を踏まえた考え方というのは盛り込まなくていいかと言われたら、私としてはどうなのかなと思います。それも踏まえてのある程度の答申でないとうまくないのかなという感じを私は受けていたのですが。答申を受けた町の方でどう受け止めて実現できるかというふうなことが当然前提になってくるのでしょうから。
教育課長	町の財政規模について先ほど少し説明させていただきました。小学校につきましては、一小、二小、三小については改築しなければいけないという考え方については一致しているところだと思います。小学校の校舎の安全面から早く手を付けなければならないということが、皆様の方からもご理解いただけたかと思えます。小学校を改築している間に中学校を合わせて同時に校舎を整備するというのは不可能だと思っていただきたいと思えます。小学校を造るのに精一杯のところ、中学校も併せて整備というのは無理だと思いますので、どちらかを先にして、その後終わったら、例えば小学校を先にしたら、次は中学校と、こういう順番でないと進められないのかというふうに思っております。特に小学校につきましては、既存のその敷地の中に新しく校舎を造るのは狭くて無理だと思いますので、新たに土地を求めるしかないのかなと思っております。小学校を新たに建てる場合、用地の選定をし、そこで地権者の方と交渉し、造成をし、設計をし校舎を建てる。ここで用地の選定から始めれば、最短で見ても8年くらいはかかるのでないかと思っております。その場合中学校も同時にどこかの場所に新たに土地を求めて買おうとする場合は、小学校とどちらを先にもってくるかということになりますので、8年後でないと中学校の建設が始まらないというふうなことになるのかと思えます。その辺を踏まえてですね、ご意見をいただければと思っております。参考までに余目中学校を大規模改修という話がありますが、そこであれば土地の買収の必要はなくなりますので、こちらはすぐに着手できるのかなというふうに思っているところです。事務局からあまり言い過ぎますと誘導しているような話になりますので、このくらいにさせていただきたいと思えます。
会長	今事務局から、小中の同時進行は厳しいという現実があるという話でした。これも踏まえてということだと思います。あとは立川地区の方々にとっては、距離的な問題が非常に大きいだろうということは懸念されるので、そこをクリアする手立てがあるのかというふうなことも課題になってくるのかなと話を聞いて私は思ったところです。例えば、スクールバスの運行の在り方をどうするのか。スクールバスの台数をどうするのか等々出てくるのかなというふうなことも考えたところでした。
D	スクールバスの件で、45分のところが冬季になると1時間以上かかるのではないかという話が出ましたけれど、今、最短時間で行けるように台数を増やすということを考えられないのか。

教育課長	その辺は十分に考えられることかと思えます。
D	冬季だけでも台数を増やして、時間を45分なら45分くらいに短縮できるような手立てとかはないのか。
教育課長	先ほどの資料5をご覧くださいと思います。Aは立谷沢から来るバスなんですけども、実はこちら立谷沢、清川地区を来たあと狩川地区を回って、ちょっと時間がかかっている経路になっております。この辺を見直せば、冬季間、時間の短縮にはなるのかなと思っております。その分バスを増便するというようなことも可能だと思います。この審議会の中でそういうご意見も出たということであれば、そういうことも踏まえて検討していくことになると思います。
D	先ほど、小学校を別の場所に建てるということで、小学校を先にして用地の選定から進めていくとして8年、ないし10年近くかかるということで、8年も待ってられないという感じはするんですけども、今の一小、二小、三小の校舎の状態から見ればですね、その8年をもっと短期間で建ててもらいたいな感じはするんですけども。それが終わってから、中学校が別の場所に建てるとしたら、用地の選定からなるわけでだいぶ期間がかかるわけで、かなり非現実的である感じもしますし、先ほどいろいろ懸念される材料も、それを解消していくためには、スクールバスの運行を最高でも冬の間でも45分くらいで中学校に着けるような体制を組むとかですね、そのような方向が現実的ではないかなというふうに思います。
会長	まだ、ご意見をいただいていない方々からもできればご意見をいただきたいなと思えますが。 いろいろな判断が難しい部分もあるのかなとは思いますが、現実的な部分を捉えて判断せざるを得ない部分もあるのかなというふうに感じたところです。 一番懸念されるのが、立川の子どもたちが負担感といいますか、親御さんの負担感といいますか、そういったものを十分に受け止めながら進めることができるのかなというところが一番大きいところのように感じたところでした。 前回の話し合いで1校が望ましいとなって、この場に及んで2校もあり得るとはならないと私は思いますし、そうすると、やっぱり財政的な云々というところ、現実的な部分を踏まえて判断すると、現在の余目中学校を改修をし、立川の子どもたちが負担を軽減するような形で対応するというのが現実的なのかな、そういうところが落としどころなのかなというふうに思います。いかがですか。
C	改修というのは、中央公民館がこの建物になったというイメージでということでしょうか。このくらいの規模の改修ということになりますか。
教育課長	具体的にどこまで何をするかということは決まってはいいのですが、この辺まではしたいなというふうには思っております。

C	私は一小なのですが、一小の改修で鉄筋を入れたりだとか、あの程度の改修かと思っていたのですが、このB棟くらいに新しい施設になるというイメージでいいのか。
会長	その辺、どのくらいまでお約束できるのか。
教育課長	改修にあたっては、学校と相談しながら、今の教室の使い勝手がこうあったらいいなど要望を聞きながら進めたいと思っています。
会長	改修との関りの中で、一緒になる時期の問題も出てきますよね。それとの関係も出てくるだろうなと思っています。
教育課長	仮の話ですけども、余目中学校を改造するとすれば、基本設計をして、実施設計をして改築に3年か4年、最短で6年くらいでできるのかなと思っています。
C	改修についてはわかりました。私個人的にはB案の方が、立川地区の負担のないところに建ててもらいたいなと思っているんですけど。やっぱり、新築はお金がかかるから無理なのかという判断をつける情報が欲しいのではないかなと思います。本来であれば、新築と既存を利用するデータを並べて比較していくものだと思うのですが、漠然な金額でなんとなくお金がかかるから、改修の方がいいのではないかという流れになるのは違うと思う。
会長	事務局の方では小学校との兼ね合いもあるのでという、その辺の根拠の一つというふうにして受け止めたのですが、どうですか。
教育課長	事務局の方では事務局なりにシュミレーションしたところであります。小学校の方は一小、二小、三小は改築しなければならないということを前提で固定すると、その場合、中学校を大規模改修する場合と新築する場合、どのように変わってくるのかなと思ったところです。小学校に関しては出来るだけ早く改修したいと思っていますので、用地を選定し、基本設計、実施設計、工事をかけると7年から8年くらいかかるだろうと思っています。これがいつから始められるのか。来年度、もしくは、令和7年度から始められるとしたら令和13年度くらいには新しい小学校に入ることができるのかなというふうに見込んだところです。最初小学校は、用地選定とか基本設計はあまりお金がかかりませんので、この間に余目中学校を大規模改修することは可能だろうなと思っています。なので、中学校を大規模改修するのであれば、小学校の改築より前にもってくるというのが一つ案なのかなと思ったところです。それから、中学校はやはり新築するというふうに決まった場合には、小学校が令和13年くらいまでかかるのであれば、中学校の校舎を建てるのはやはりその13年度以降じゃないと建てられないだろうなと思っていました。そうするとまあ4年ぐらにかかると見込むと令和13年、14年、15年、16年この16年位までかかるだろう。とすると、新校舎に入れるのが令和17年くらいなのかな

	<p>ということで、一応のシミュレーションということで、多少の前後はあるかと思えますけども、この感じで進むのかなと思ったところです。長寿命化の場合だと、小学校の建設より前にもってこられると、新築の場合だと小学校を建てた後になるだろうという予想はしたということです。</p>
A	<p>中学校は1校なんですけども、小学校は1ないし2校が望ましいということで、この場合、中学校1校、小学校1校とはすぐにはならないのかと思えますけど。そうすると、小学校は、20年後、30年後を見据えた場合、2校というふうに事務局では考えているのですか。1ないし2とありますけども。</p>
会長	<p>中学校の整備というようなことで今進めているわけですが、小学校との関係も当然でてくるだろうと思っていました。小学校の方も難しい部分が絡んでいるなと思っていましたので、両方同時に進行するというのもやりづらい部分があると思えますので、ここは中学校として一つの区切りをつけさせていただければと思ったのですが。</p>
A	<p>中学校を先にして、それが決まったあとに小学校は考えるということですね。</p>
会長	<p>いろいろ絡みがあるわけなんですけども。 先ほど来、事務局からは小学校一小から三小までは安全性を維持するためには、最初に進めなければいけないという、ここは揺るがない部分なのかなというふうにご理解していただくことが必要かなと思います。 理想としては、新校舎というところなんだという意見があったことも踏まえながら、ただ、現実問題としてはやはり難しいのではないだろうか、どうでしょうか。 時間が限られている部分もあるので、同時進行させてもらっていいですか。つまり、【議題2】【議題3】も踏まえながらもう一度、【議題1】に戻る。当然、そこには兼ね合いがでてくるということで、そういう進め方をさせてください。よろしいでしょうか。 【議題2】適正規模の考え方について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(【議題2】適正規模の考え方について資料6に基づいて説明)</p>
会長	<p>前回話し合った内容が正確に反映されているかどうかということで、確認をお願いしたいと思います。 よろしいでしょうか。それでは、確認させていただいたことにしたいと思います。</p>
B	<p>中学校、1学年あたりの学級数は複数学級が望ましい。今現在、立川中学校は望ましくないということで、だから、中学校は1校にするという、そういうストーリーということで、庄内町の適正規模の考え方はこうだから、今現在、子どもの数が少なくなっている立川中学校としては、適正規模を満たさないということで、だから一つの中学校にするという流れということですか。</p>

会長	そこまでのストーリーができてきているかという、疑問なところが私はあるのかなと思いますけども、中学校の1学年あたりの規模としてどうなのかという捉え方で答えているのではないかなと思います。
B	今現在の状況は置いておいて、望ましいのはこういう形だよということですね。わかりました。
会長	そのように理解はしたところでしたが。それでは、【議題2】についてはこれで終わらせていただきます。【議題3】について事務局から説明をお願いします
事務局	(【議題3】適正配置の考え方について資料6に基づいて説明)
会長	小学校の方は、30分程度というような具体的な数値が出ている、それに対して中学校の方は出ていないので、小学校と合わせるような形でまとめたいというような話がありました。 仮にということで、先ほど出されたわけですけども、余目中学校の校舎を使うとなると30分では満たされないということになってくるんだろうなと思ったところです。 【議題1】の部分がまだ決まっていないので、この数値を入れるということは、今の段階では現実的に難しいのかなと捉えるのが普通なのかなと私は思ったのですが、【議題1】がある程度の方向性が示されれば、埋めることができるのかもしれませんが。 中学校の時間が入っていないのを除けば、これで確認してよろしいですか。【議題1】との関係があるので、ここは浮かせてください。よろしいでしょうか。それでは、次、【議題4】適正規模・適正配置を実現するための学校整備について、町内5つの小学校の整備の仕方について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(【議題3】適正規模・適正配置を実現するための学校整備について資料6に基づいて説明)
会長	まずは、答申にかかわる文言がこれでよかったかどうかということになるのかなと思います。中学校の部分は置いておいて、その前の文章としてこれでよかったかということを確認したいと思います。
B	小学校で、場合によっては地区の状況で単学級も考えられるということ踏まえて図を見るとなるほどだなと思いますが、パターン2とかパターン1は将来に向けては、子どもたちの教育環境を考えると不安になりませんか。実際問題、状況によっては、どんな状況なのか、地域のこととかあるのかもしれないですけど、例えば、パターン2だったら、立小が残るわけですけども。
会長	事務局からは、パターン4については、平準化してという部分では、新たな校舎を2つというような視点からもかなり厳しい部分もあるのではないかなという説明も出されたところでしたが。
B	まずは、建物のもち具合ですかね。

会長	一小から三小についてはやっぱり、もう維持できないという観点から、やむを得ないというか、ここは一つという、その辺は変わらないのかなと思います。他の2校について、どう考えていくかというところなんだと思います。
B	一ついいですか。今日、四学区の方いらっしゃいますか。立小と四小とありますが、四小は、今までの経過から和合中と余目中と一緒にいるときもこっちに来たって感じで、どんなふうに思っているのかなと思って、どんなもんですか。
G	嫁いできてから、約20年弱になるんですけど、四学区だったので、中学校になれば、余目中学校に入るんだという感情できました。今回の件で、立川の方へとかいうことになると、あちこち振り回されている感じで面白くありません。なので、一緒にするなら一緒、一小から四小まで余目のくくりで来たので、それは感じます。保育園などで、四学区で狩川保育園へ通わせてもらったことはありますが、それは、小学校になれば四小に、中学校になれば余目中学校にということで慣れてきたので、時代が変わったといわれればやむを得ないのでしょうけど、立川さんが嫌だとかそういうことは全くないんですけど、四小学区ばかり、あっち行って、こっち行ってというふうに捉えてしまうところがあるので、和合地域が余目と一緒にあったところを分けないでほしいなという気持ちではあります。
A	私は、パターン3が一番妥当なのかなと思いますけど。
会長	パターン3ではないですね。
A	私は、パターン3であれば、小学校と地域の連携を考えた場合、一番スムーズにいくかと思います。
会長	四小と立小が一つということでしょうか。
A	はい、そうです。
会長	その辺もいろいろな考え方があるのだと思いますけども。
A	私としては、学区と地域がそのままということで、それには、学区の再編の基礎となる最小の単位は現在の学区を活かしたものが受け入れやすいということが出ていますので。
会長	仮にパターン3で行くと、小学校を2つ同時に建てることは不可能なので。
A	小学校はまだ、1校か2校かということは決まってないわけですね。
B	パターン3は立小を使うという意味ではないんですか。
教育課長	これは学校と一緒にするというだけで、どこの校舎をどうするということまで想定したものではないです。あくまでも、これまでの審議会で出てきた組み合わせをまとめただけですので、事務局がどうのこうのという考えはないです。
会長	規模的に四小に入るのか。詳しくわからないのですが。
B	立小だと2学級入りますね。

会長	立小だと入るわけですね。これまでの歴史的背景とか地域住民の思いであるとか、そういったご意見もあるわけですし、ここは慎重に考えていく必要があるだろうなと思っています。
A	これから地域の説明会があるわけです。その中でどういう意見が出てくるかわかりませんが、今までの地域割と立川も一緒になるというのはありますけども、第四学区はだいたい今まで通りの方向でいいのではないかと、あとは立川と一緒にやっていくということであればうまくいくと思います。
会長	今のところ、パターン2、パターン3で話が出てきたわけですが、パターン1というと、1校ないしは2校が望ましいなので、ちょっと外れる部分もあるのですが、ここは段階的な整備という視点からいけば、なくもないとは思われますが、この部分についてはないということでもよろしいでしょうか。ご意見がないようですけども。 一つひとつ確認させてください。段階的な整備という観点ではよろしいですね。段階を経て整備をしていくと、ここは確認させてください。最終的には20年後、30年後の話になればパターン5としたとしても、現段階では段階的に整備していくということでもよろしいでしょうか。そうするとパターン4については現実的でないのではないかと、パターン1からパターン3、この部分のあたりで詰めていく必要があるのかなと思っています。いかがでしょうか。
B	今日の中学校の件にも関係するんですけど、本日、出張に行ってたんですけども、なるほどなと思った例がありました。新庄の例だったんですけど、小中はバラバラ、例えば、一小、二小、三小、四小から余目中学校に行くバラバラの中に、義務教育学校、つまり、小中一緒なんです。その接続面がなめらかなということで、子どもたちにとって、小学校から中学校に上がる時、冷たい雰囲気になれるようなことがあるんですけど、大人になるために。そういうのがなくて9年制の学校も作れるんですけど、だから、あえて、そういうことは言わなくてもいいのかなと思ったんですけど、パターン2、パターン3に小学校と中学校を2つ、結局、中学校が2つになるんですけども、立川の方も義務教育学校として残って、そっちは余目中学校、あと小学校という道もなくはないんですよ。そうすると今の立川中学校とか立川小学校はコンパクトにまとまっていますよね。あの校舎は結構使えるわけです。なので、お金の面でもある意味、校長先生1人、教頭先生2人といった今までにはないところが、少子化の中で最上を中心にそういう学校が今、萩野学園、明倫学園とかで進められています。
A	今の意見は、最初のころ出ましたよね。立川を小中一緒にしたら面白いのではないかと。そういう意見がはじめるころ出たと思うんですけど、それも面白い考えで、ここに出てきたということは、それが可能なかどうか、考えとしては面白いのではないかと思います。

会長	本町だけでなく、他市でも未来の学校がどうあるべきかということが議論されているかと思います。例えば藤島地区もこの秋にある一定の方向性を出したいと動いているようですし、その中には、やはり義務教育学校というような選択肢も、小中一貫ということで、残されているんだろうなということもあると思います。
B	先ほど、四小のお母さんにこんなことを聞いて大変失礼なんですけども、人数からしてパターン3で義務教育学校にすると中学校でも学年が2クラスになるんですよ。立川だけで義務教育学校にすると先細りすると思うんですけど、30年後といたらちょっとわかりませんが。
G	自分の友人関係から話を聞いたら、隣の酒田市でも川南の学区が小中一貫校でいくという話があるよと聞いていて、酒田四中と四中学区の小学校が一つになって小中一貫校になって動くんだということを聞いていたので、それもありなんだろうなと思いました。じゃどうするかとなったときに、パターン3も小中一貫校であれば、気持ちも新しい施設になるしというふうに前向きに捉えられるメリットなどがあれば踏ん切りもつくのかなと思います。
会長	そうすると中学校の考え方が1校ないしは2校という表現になっていくということになるんですね。余目地区の場合は中学校を小学校、立川地区というか、その場合は小中一貫の義務教育学校という形を将来の像として描くと。
G	あと全然何も考えないで、思ったときにパターン5を最終的に置きつつ、一小、二小、三小がタイムリミットが迫っているということであれば、一小、二小、三小を最初に一緒にしてもらって、ゆくゆくは、四小も立小も一緒にしてもらえればいいのかと思いました。中学校の部活動の考え方もいろいろ聞こえてきていて、A活動だったり、B活動だったり、あとはC活動であったり、1、2年前は立川地域にいたらあの部活には入れないのかなとか、いろいろ思ったんですけど、中学校の方では、部活動の見直しとか、先生方の働き方改革などどうのこうの言っていることを思うと1校でもいいのかな、よくよくは1校になるということ前提に段階的にというのがあっていいのではないかと感じてきました。
A	ただ、パターン1はですね、一小、二小、三小はどうするのかということで動いていくと思うんですよ。当然、安全性、その他を考えて。そこで、一小、二小、三小の小学校が一つになるのか、2つになるのかこの辺はまだ、決まっていないですね。
会長	1校ないし2校という町全体の話ですので、一小、二小、三小は1校という前提で考えていきたいと思います。いかがでしょうか、皆さん、そういう理解ではなかったでしょうか。
A	最終的には1つになるということですからその辺でいろいろなことが可能になるのかなと思いますけど。

D	<p>先ほどの小中一貫校については、Bさんが入る前にいろいろ話題になったんですけども、立川地域の人からそういう声というか希望が出てこなかったんです。私も提案したこともあるんですけども、そういう経過があって立切れになったような格好なんですよ。</p>
B	<p>小中一貫と義務教育学校は微妙に違うんですよ。義務教育学校は9年間、どこで区切ってもいいんですよ。教育課程が既存のものに捉われないで、ある程度自由裁量できるんです。義務教育学校だと。ただ、その良さをもうちょっと保護者の方、地域の方が知るべきだと思うんです。今いろんなところでできている義務教育学校が一番はお金の問題だと言われています。お金がかからない。それは、そうなんですけど、それだけでなく、この学校に入れたいというブランディングっていうんですかね、それを作れるいい取り組みだなと思いますし、そうなれば、一小、二小、三小が一緒になったって、のうのうと今まで通りやっていったって、あっちの小学校いいよね、というふうになって、こっちはこっちのブランディングを進めていかないといけないし、学校というのは生き物なので、子どもたちと変わっていきますけど、そこに集まる先生、地域の人、保護者と一緒にその学校に本当に入りたい、あの学校いいなというような学校にしていければと思うためには、私は、ある意味いい対になる組織かなと思っています。</p>
会長	<p>児童生徒数からみて、果たしてどこまで義務教育学校に耐え得るのかなという見方も必要なのかと私は思っていたところですが、確かにいいシステムであることはいいシステムだろうと思うんですけど、資料6の3ページに児童生徒数の推移が出ているわけなんですけど、令和11年だと、仮に立川中、立川小だけで義務教育学校とした場合、167名ですよ。その後が小学校の方はデータがないんですけど、中学校は40人台になっていきます。これ四小を加えてというふうになると少し違った部分もあるかもしれませんが、先細りは免れないのかなという感じは受けるんですけど。</p>
B	<p>私が言ったのは、四小を含めた場合です。なので、先ほど、四小学区の方に話を聞いたわけです。立川地区だけだと会長が言うとおりに先細りします。先ほど四学区の方が言われた、いずれ一つになるというものがあるとしたら、それが20年後か25年後か30年後かわかりませんが、ある意味そうするとそこにもつながっていくのかなと思います。</p> <p>お金がかかるから、余目中学校を長寿命化したい。それと立川の方々の負担を軽減させるために新しいところに造ろう。これは正直いつてなかなかどちらも成り立ちませんよね。</p>
会長	<p>小学校で教科担任制が進むことが予想されます。そうした段階において、現体制の中で小学校の教員数では教科担任制は無理だろう、かなり厳しいだろうというふうなことを予想しています。現実、今、やっている学校も出てきていま</p>

	<p>す。その中で、人的な配置に課題が出てきているのも事実です。そうすると小中、免許の問題とかいろんなことが出てくるんですけども、そういったことから考えても小中の連携は密であった方が将来の学校としてはいいだろうなという感じはしています。何も義務教育学校にするとか一つの組織にするとかだけでなく、学校の配置に関してもそういったことがいえるだろう、あまり遠く離れたところではちょっとどうなるのかなと思います。そんなことも考えていました。</p> <p>話の内容が義務教育学校となった場合は全く違う発想にならないとできないと思います。</p> <p>町民の皆さんから、ヒアリングをいただく場面もこれからあります。その辺りでも声を拾ってもいいのかなという感じもするところなんですけど、ご意見としては、パターン1からパターン3あたりが、よりパターン2とパターン3、この辺りに絞られてきてはいるもののこの会で確定できる段階まではきていないのではないですかね。ヒアリングでいろいろな意見をいただいたうえで最終的な判断をしていく方向でどうですか。</p>
B	<p>昔の話になりますけど、立川小学校に統合したときに狩川、清川、立谷沢の3校が一緒になったわけです。たまたま、その時、教育委員会にいたので、すべての地区を回らせてもらったんですけども、狩川地区はほとんど無風でした。何も変わらないわけですから。校舎は新しくなって。ただ、清川、立谷沢というのは罵声も浴びせられましたし、会が終わってから涙を流す様子もありましたし、断腸の思いというのがあるんだなと思ったときに、地区地区でヒアリングするというので会長の方からありましたけども、今庄内町で学校運営協議会がちゃんとあるので、その学校運営協議会できちんと、例えば、年度初めと年度終わりだけやるのではなくて、こういう議題のとき、四小学区や立川地域は自分たちの地区の学校をどうしたらいいのかということをおフィシャルな中で、アンケートは無記名なものなので、立場で話し合ってもらう機会が必要だと私は思います。というのは、遊佐が今年の4月から5つの小学校が一つの小学校になりました。中学校は一つだったので、その時、統合が分かっている、全部コミュニティスクールにしたんですよ。統合が分かっているです。統合ありきで、つまり、その学校の寿命がここでなくなるというのに何でコミュニティスクールにするのかなって、でも、少子高齢化の波の中で自分たちの学校行く末、新しい学校に行ったときには、その新しい学校に自分たちの学校のこういう思いをちゃんと伝えていけというブランドメッセージがあったんだなと私は思っています。ですから、そういうところを四小学区や立川地域の方々、このパターンでいったら、一小、二小、三小は大きくなるのか、新しい校舎になるのか程度で、四小学区や立川地域はそういう感覚ではないと思うので、そういうところは、きちんと学校運営協議会の方々がいらっしゃるので、その方々から意見をいただいて、学校との合意形成を図った方がいいのかなと思います。</p>

	ます。
会長	幅広く、特に四小学区、立川地域の方々から意見をいただく方策をというご意見だったと思います。事務局いかがですか。ヒアリングは行うわけですが、その他の手立てとして何かあるかなというあたりいかがでしょうか。
教育課長	学区ごとに入っていくわけですので、学校運営協議会の人たちも同じ学区なわけですので、どうでしょうか、学区のヒアリングの中に来てもらうのか、もしくは別に開くのか、その辺はどうしたらいいのか内部で検討させていただきたいと思います。
会長	より多くの方からの声を拾っていくということで確認させていただいてよろしいでしょうか。パターンについてもいろいろな声をいただいたうえで最終判断をさせていただくという方法でよろしいでしょうか。 それでは、【議題5】学校整備の時期については、先ほど来、このパターンではこういう形ということで話があったんですが繰り返した方がよろしいですか。
教育課長	どのパターンでいくということが決まっていないので、時期が具体的にいつというのはお話できないのかなと思っていました。
会長	ここまで来て、また【議題1】に戻ってよろしいでしょうか。小学校のこともいろいろ検討を重ねたうえで、もう一度、中学校はどうなんだということですが。あえて方向性をということを言われれば、これまでの意見の中では、新校舎が理想ではある。ただし、財政的なことを考慮し、小学校の新築との兼ね合いもあるわけですので、そういったことを踏まえると、余目中学校の長寿命化で対応せざるを得ないというところが落としどころなのかなと私は受け止めたのですが。理想としては新しい学校という声があったことは事実なわけですので、ただ、余目中学校の校舎を使うにしても、交通関係、スクールバスの運行、そういったものにはかなりの配慮が必要という意見が出されました。
A	B案も出されてきているわけですので、B案も出されたがということで確認していただければ。
会長	それはもちろんだと思います。事実そういうご意見が出ているわけなので。あと、絡んで、義務教育学校について意見は出ましたけども、その辺りは小学校とのパターンで関係してくるところが出てくるんですけども、地域のヒアリングの中で義務教育学校という選択肢はないのですかという意見が出るかもしれないですし、ちょっとわからないですけども。
A	中学校、冬場だと立谷沢方面は1時間くらいかかるという話はしないといけないのではないかな。
会長	この場合だったらこう、この場合だったらこうというような意見があって、一つこれというところまでは決めかねられなかったが多かったのかなと感じています。

E	<p>以前話の中で複数学級が望ましいという声が結構多いということもあり、私もイメージわからないのですが、仮に義務教育学校になったとき、中学校と一緒になったときとかは、行事の行い方が全く別になるのかなあと、例えば、中学校では合唱コンクールとか、体育祭とか少人数では味わえない部分はあるのかなと、その辺はやはり地域の方の声を聴かないといけないのかなと思ったのが一件と、あと、デメリットがありましたけども、ハード面でなくてソフト面で変えていく手段はないのかな、例えば、始業時間を若干遅らせること、それから下校時間を早める、あと、部活動の送迎についてはやり方をちょっと考えていくと。場所を常に余目でなくて拠点化するとか、交互にするとか、そういうものを地域の声を聴きながら検討していったりより良い学びができる条件を探っていくということがあるのかな。それから、中学校はこの人数でいくと将来的には足しても3学級しかならないので、現余目中学校の校舎をあれだけのスペースを代替的に使うというイメージはないかなと思いました。将来的に3学級になるということでその辺の校舎の使い方も並行して声を聴きながらしていくということと、ハード面だけでなくソフト面も変えていくことを思いました。</p>
会長	<p>ハード面だけで議論してきた部分もあるわけですが、一日の教育課程を少し工夫していくことによって、また、生徒の負担を軽くすることができるのではないかなというご意見だったかと思います。よろしいでしょうか。</p>
C	<p>今出た意見も意見交換会で出していけないと理解が得られないのではないかなと思います。ちゃんとこういうところまで考えているよというところまで伝えていけないといけないと思いました。</p>
教育課長	<p>只今、そのようなご意見もありましたので、資料6、10ページの8 学校整備を進めるにあたっての付帯意見というのがございます。この辺に、審議会ではこのような意見が出ましたというふうに付け加えさせていただきます。なお、もう一つ、その上の方の中学校の整備に関して、A案、B案があって会長の方からA案の方でということでこの会でまとまったかと思いますが、この文面を見ると財政的に考慮しということで、お金の面だけで判断したように見えますので、この文章は直ささせていただきたいと思います。お金もそうですが、既存の施設の広さですとか近隣への社会教育施設があって、その辺の利便性があるだとかそういうところから総合的に判断したんだという形に文面を直したいと思いますので、ご了解いただければと思います。</p>
会長	<p>今の点よろしいでしょうか。</p>
A	<p>財政を削るのではなくて財政的にも含めてということで、そういう形でやらないと財政が一切でこないのでおかしいと、資料では財政的にかなり差があると出ているわけですからね。</p>

会長	<p>語尾が「である。」になっているんですが、「である。」でいいんでしょうかね。この辺も望ましいということで、望ましいという意見だったという方がよりソフトなのかなという感じを受けたところです。</p> <p>8時30分までの予定でしたが、もう15分程度延長させていただいてよろしいですか。それでは15分延長させていただきます。</p> <p>【議題6】答申書（案）について、まだやっていませんでしたので、事務局の方、説明をお願いします。</p>
事務局	(資料に基づき説明)
会長	<p>素案というところの資料、これがまずは、答申書のもとになるということですので、何かお気づきの点あれば出していただければということです。では、出てこないようですので、次回8回目について、もう一回審議をしなければいけないところが残ったわけですけど、町民の皆さんのヒアリングを受けて、最終、詰めさせていただければなと思ったところです。よろしくお願いします。これで協議の方、終わらせていただいてよろしいでしょうか。慎重審議、本当にありがとうございました。では、事務局の方にお返しします。</p>
事務局	<p>慎重審議、どうもありがとうございました。次第の7その他ということで、次回審議会を10月20日金曜日、午後6時30分から予定しております。今回の審議会の内容を整理し、答申書（案）を整備したうえで、7月から8月にかけて、説明会、ヒアリングを設けたいと思っています。次回は地域の意見を聴いたうえで、答申書をまとめていく、審議会として最後の回となるかと思いますのでよろしくお願いします。本日はどうもありがとうございました。</p>
閉会	20：40